

学 校 家 庭 地 域 連 携

だ よ り

第321号

令和5年3月1日発行

発行者 川和中学校区 学校・家庭・地域
連携事業実行委員会

編集者 広報活動部

事務局 川和中学校 電：941-1361

本紙は川和中学校区内の青少年の健全な育成と安全対策を目的に、学校・家庭・地域社会の関係諸団体や賛同者が連携し、連絡調整、諸活動を進める実行委員会機関紙です。

「卒業生のみなさんへ」

川和小学校 第6学年主任 草野由実奈

「人に優しく自分に優しくできる人になってほしい。」

この言葉は私が小学校6年生のときの担任の先生に言われた言葉です。その当時の私にとって「自分に厳しくではないのか？自分に甘い人になってしまうのではないかと？」と思っていました。自分に優しくするのはどういうことなのだろう。この言葉が気になり、私なりにずっと考えてきました。そしてたどりついた答えは、優しくすることと甘やかすことはちがうということ。優しくすることは厳しくすることより時には難しいと思います。自分に優しくすることができる人こそ人にも優しくすることができるのです。6年生のみなさん。みなさんは素直で明るく、いつでもパワフルでしたね。特に83人のパワーが一つになったときのパワフルはまさに「流星群」のようにまぶしいほどに輝いていました。これから先、たくさんの人と出会い、数々の経験を、もっともっと輝いてください。そして真のやさしさを見つけてください。人に優しく自分に優しく人になってほしいな。



卒業生のみなさんへ

郡田西小学校 6学年主任 吉村 和樹

今年度の6年生の学年目標は、「憧れのま」とです。一人ひとりが自信をもち、お互いを信頼しながら歩み、全校の憧れのまとなるという意味が込められています。この目標に向かって取り組んできたみなさんは、日光修学旅行ではお互いを信頼し楽しく歩むことができました。運動会では、演技「ディパーチャー」を、自信をもって表現することができました。最高学年とは何かについて考え、一つひとつの行事や学校生活を送る中で、全校の憧れのまになるように成長できたと思います。

4月からは、中学生です。「感謝の気持ち」を大切に過ごしてください。みなさんが困ったときは、保護者、きょうだい、友達、地域の方、すべての方が味方です。「親しい中にも礼儀あり」ということわざがあるように、あいさつ、感謝を伝えられるような人となり、楽しい生活を過ごしてください。みなさんならできると信じています。いつもでも応援しています。ご卒業おめでとうございます。

「卒業生に向けてのメッセージ」

川和小学校 6学年主任 宗木 俊泰

いよいよ卒業の時が近づいてきました。みなさんと頑張ってきたことが、走馬灯のように頭をよぎります。初めての修学旅行で見せてくれた笑顔、たくさん練習して感動した運動会でのソーラン節。学年集会の綱引きで盛り上がったこと。授業でみんなが意見を言い合って考えが深まった時の一体感。時には、怒られた時もありましたね。その全てが大切なみなさんの財産です。この最後の一年間を一緒に過ごせたことをとても嬉しく思います。

これからの人生においていつも持っていて欲しい物が一つだけあります。それは・・・『優しさ』です。優しい人の周りには、いつも会話が生まれます、笑顔が生まれます。そして、人の絆が生まれます。たくさんの人に囲まれて・・・そんな温かい人生をみんなには生きてほしいと思うのです。

いつかまたみんなと会った時、キラキラした顔で頑張っているみなさんに会えることを楽しみにしています。いつも応援しています。卒業おめでとう。

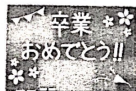


「卒業生へのメッセージ」

川和中学校3学年主任 安川 早苗

3月8日に卒業式を迎える生徒のみなさんが本校に入学したのは、感染症への不安が始まった頃でした。保護者の方に入学式の晴れ姿を見守ってもらえず、体校措置もとられ、課題提示での家庭学習、分散登校にリモート学習と、学校側も初めての試みに戸惑うことも度々ありましたが、新しい試みにもしっかりと対応できるみなさんがそこに居ました。

不安も大きかった分、学校や仲間に関わる茲に時間は少々かかりましたが、今や立派な最上級生へと育ちました。先輩方からひとつ受け継がず、3年ぶりに迎えた全校参加の「体育祭」「合唱発表会」では、立派な姿を後輩に披露していました。黄色学年の生徒のみなさんが学校行事再スタートの旗印となり、礎を築いてくれたのです。きっと、後輩がこれから素敵な伝統を彩ってくれることでしょう。卒業後、自分磨きをしっかりと、どうぞ素敵な大人になってください。ご多幸をお祈りしています。



令和4年度『社会を明るくする運動』標語コンクール入選作品

【優秀賞】

こまっても 一人じゃないよ 大丈夫
あいつは なかよくなる あいごは
たすけあい えがおひるがる まちづくり
挨拶で 広げ広まれ 地域の輪

川和小4年 木全 佑佳
川和小3年 釜屋 千南
都田西小4年 洪江 明莉
川和中3年 水野 和紗

【佳作】

みんなが へいわに くらせる町 かわわちよう
こまっている人 ささえあおう やさいい町
えがおで あいさつ いいきもち
せまい道 たてにならんで あるこうね
バリアフリーは 建物やのり物だけじゃない 心のバリアフリーを 広げよう

川和小1年 笠島 悠人
川和小2年 宮代 漢万
川和小3年 福沢 通大
川和小5年 金子 実乃梨
川和小6年 金井 佑秀

ひとにあたら につこり あいさつ
ちかちかの あおしんごうは わたらない
ただ一人 だれかを思う ゆずりあい
ボランティア 初めて気づいた ありがたう
あいさつは 幸せ作る エネルギー
たすけあって げんきに わいわいするまち
あいさついっぱい にこにこダウン!!
あいさつよ マスクしてても 心にどけ
あいさつは 笑顔の種だ 大切に
前を見て スマホじゃなくて 番号を
この街は ゴミ箱じゃない 宝庫
そこにいる 手を差し伸べる あなたどこ
助け合い お年寄りには 譲り合い
差し伸べよう みんな暖か かわわ民
「ありがたう」 街に広がる バトンパス

川和小6年 荒尾 魁二
川和小1年 山本 大晴
川和小2年 谷山 葉之助
川和小4年 阿村 日菜乃
川和小5年 田中 莉人
川和小6年 村上 侑生
都田西小1年 正後 凜空
都田西小2年 飯田 海璃
都田西小3年 吉川 晴莉
都田西小5年 清部 南咲希
都田西小6年 小松 莉輝
川和中1年 玉井 耕輔
川和中1年 工藤 璃子
川和中2年 田中 千尋
川和中2年 鈴木 愛
川和中3年 吉本 優

「学び」からの「STEP UP」

川和東小学校 6年3組 川村 凜心

私はこの6年間、授業や行事の中で知識や人とのつき合いなどたくさんを学びました。それまではうまくいかないことがあっても、何が悪かったのか分かりませんでした。しかし、色々学ぶことで次はどうしたらいいのかが分かるようになってきました。それでもまだ十分ではなく、私はさらにSTEP UPしたいです。それには積み重ねが重要だと思います。中学校では、もっと様々なことに興味をもち、極めたいために一つ一つの経験を積み重ねたいです。

「中学校での目標」

都田西小学校 6年 野沢 潤大

僕が中学校で頑張っていきたいことは2つあります。勉強と部活動です。1つ目は、勉強です。勉強は小学校の時より難しくなるからです。特に数学を頑張りたいです。なぜなら算数から数学になって新しい事も習うので勉強についていけるようにしたいからです。2つ目は、部活です。部活動では、今やっている習い事より厳しくなり初めての団体戦などもあるので頑張っていきたいです。それと部活動を通して新しい友達なども作りたいたいです。

「大切な友達」

川和小学校 6年2組 中山 里緒

私は6年生になって、友達の大切さについてとても心に残ったことがあります。それは、小学校生活最後の運動会、私はソーラン節を演技しました。運動会の1ヶ月前からみんなで練習を始めました。ソーラン節は重心の移動、手や足の使い方がむずかしく、私にとって練習はとてもきつかったです。でも、それをのりこえられたのは友達がいたからです。友達がいればなんでも楽しくできる。友達といえそう思えてくるのです。そして私はきつい練習も友達と楽しく笑い合っって本番に向けて練習をがんばりました。

この6年間、何度も何度も友達は大切だと思えるようなことがたくさんありました。私にとって友達はいなくてはならない存在です。そして、私達はあと数日で卒業です。この6年間ずっと一緒にいた大切な友達と笑い合っって、泣き合っって、幸せだと思えるような卒業をしたいです。

「卒業に向けて」

川和東小学校 6年3組 井谷 美涼

私が6年間で一番楽しかった思い出は修学旅行です。バスに乗った時のワクワク感、煌びやかな日光東照宮、華嚴の滝や湯滝の迫力、宿でみんなで話したことが全てが昨日のことのように脳裏に刻まれています。私はそこで友達と協力すること、マナーを守ることの大切さを学ぶことができました。

四月、私たちは中学生になります。私は、小学校生活を完全燃焼し、悔いなく笑ってこの学校を卒業したいです。残りの日々をより充実させるため友達との絆を深めたいです。

「大切な言葉」

都田西小学校 6年 高田 翔輝

僕がこの6年間で1番学んだことは、言葉です。1年生のころは言葉をあまり知らなかったけれど、授業や読書、音楽などからさまざまな言葉を知り学習する事ができました。

また、小学校のたくさんの友達や先生方と接して、たくさんの会話をするうちに自然と多くの言葉を学ぶことができました。感染症対策により学校に行けなくなった時は、とても残念でした。改めて人との会話や接することは大切なんだと感じました。また、言葉は人を傷つけたり喜ばせたりします。なので、言葉を発する前にしっかり相手のことを考えて伝えることが大切だという事も学びました。

6年間で振り返るとたくさんの先生方や友達に支えられ、生活や運動、学習でも色々教えてもらいとても感謝しています。僕は、ここで学んだ言葉や色々なことを中学校で活かしていきたいと思います。



「かけがえのない時間」

川和東小学校 3年1組 古河 史帆

「中学校3年間で1番の思い出は何ですか?」最近何気なく友達と話していること、この話題になることが多くなりました。そして私は決まって、答える時に悩んでしまいます。

原因は私が優柔不断な性格であることもありますが、やはり3年間を通してみんなと過ごした時間全てが私の思い出であり、かけがえのないものだからだと思います。

その中でも私は、最高年としての一年間が一番記憶に残っています。自分自身を成長させようと、初めてクラスの学級委員になり仕事を全うしたり、合唱発表会では指揮を務めみんなの歌声を一つにまとめることができました。「初めて」のことが沢山あって色々摸索しながらも卒業まで楽しく過ごせたのは、クラスメートのみんなのおかげだと思います。

今、私たちは受験を終え中学を卒業し、また新たな道へ進もうとしています。期待、不安、様々な感情を抱えています。これからも失敗を恐れず、進化していきたいです。また中学の最後に有終の美を飾れるよう、頑張りたいです。